

大 賞

キッズエンジニアの 取り組み

無償でものづくりの楽しさを学ぶ機会



て、産学官協力の下で毎年開催している。将来の技術者を育成するため、そして、次世代を担う子どもたちがものづくりの楽しさを知り、技術者になる夢を持つてもらいたいこの思いから立ち上げた。

自動車技術会（大津啓司会長）が2008年から小学生を対象に開催している学習イベント「キッズエンジニア」。

クルマの科学にふれながら楽しく学べるイベントとして

自動車技術会

企業や大学で活躍する現役のエンジニアが講師となつてじっくりと学ぶ機会を提供する「教室型プログラム」、気軽にものづくり体験ができる「体験型プログラム」などのメニューを設け、子どもたちの興味へとつながる取り組みとなる。自動車を支えるさまざまな分野の科学



技術やものづくりを学ぶ機会を無償で提供している。

近年は横浜・名古屋で隔年開催していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響から20年は開催を中止した。21年はオンラインのみ、22年は3年ぶりに横浜でリアル開催し、23年は名古屋で4年ぶり

に開催した。

23年は新たなプログラムとして、整備士なりきり体験や「カメラとレンズの不思議を知ろう」と銘打った動画撮影体験を設定した。整備士体験では実車を持ち込み、故障修理や用品交換を体験することでクルマのトラブルを「謎解き」感覚で楽しめる内容とした。動画撮影体験では、走るミニカーを確実にとらえる撮影アイデアとデジタルカメラが持つミニカーを追いかける撮影機能を両立させ動画表現の喜びを得られる体験プログラムとした。

自動車技術会では、イベントを通して、科学やものづくりの楽しさを体験した子ども達が、将来、日本を支える技

術者になってくれることを期待して今後も継続開催を予定する。同時に、時代とともにクルマに搭載される技術が変化していることなどを踏まえ、キッズエンジニアとして提案するメニューの変化なども模索していく考えだ。

◇

【コメント】この度は、栄誉ある賞をいただき、心より感謝を申し上げます。本事業は、子ども達に科学やモノづくりの面白さを知ってもらい、自動車産業にとどまらず、将来を担っていくエンジニアを育てるべく、2008年から15年にわたって、小学生を対象に企業・大学・地方自治体及び関連団体の皆様の御支援により継続してまいりました。今後もさまざまな工夫を凝らしプログラムを進化させ発展させてまいりますので、ご支援の程、宜しくお願い致します。